

神奈川の地名 2

平成 30 年 5 月 20 日

1 神奈川県の変遷

(1) 神奈川県の誕生

安政 6 (1859) 年に現在の横浜港、神奈川の港が開港する。これに伴い神奈川には、神奈川奉行所が設置される。

明治元(慶応 4)年 3 月 19 日 (1868 年 4 月 11 日)、神奈川奉行所を横浜裁判所に改める。

明治元(慶応 4)年 4 月 20 日 (1868 年 5 月 12 日)、横浜裁判所を神奈川裁判所に改称する。

明治元(慶応 4)年 6 月 17 日 (1868 年 8 月 5 日)、神奈川裁判所を神奈川府に改称する。

明治元年 9 月 21 日 (1868 年 11 月 5 日)、神奈川府を神奈川県に改称する。

(2) 廃藩置県 (明治 4 年 7 月 14 日詔書)

このころは、現在の神奈川県域には神奈川県以外に六浦県、小田原県、荻野山中県など幾つもの県が存在していた。

(3) 足柄県と神奈川県に再編 (明治 4 年 11 月 14 日太政官布告 594 号)

六浦県、小田原県、荻野山中県が廃止され、その他の飛び地なども整理され、足柄県と神奈川県に再編された。

(4) 足柄県の相摸国部分が神奈川県に編入 (明治 9 年 4 月 18 日布告 5 号)

足柄県が廃止され、伊豆国部分が静岡県に編入され、相摸国部分が神奈川県に編入された。

(5) 多摩三郡東京府へ移管 (明治 26 年法律第 12 号)

「東京府及神奈川県境域変更ニ関スル法律」が明治 26 年 4 月 1 日に施行され多摩三郡 (西多摩郡、南多摩郡、北多摩郡) が東京府に移管された。この移管により、神奈川県は現在の県域となる。

2 神奈川県域の国と郡

(1) 武蔵国と相摸国

現在の神奈川県域は、武蔵国の一部と相摸国に跨っている。

(2) 旧郡の配置

・武蔵国は、久良岐郡、橘樹郡、都筑郡

・相摸国は、三浦郡、鎌倉郡、高座郡、足柄上郡、足柄下郡、淘綾郡、大住郡、愛甲郡、津久井郡

※淘綾郡と大住郡は、明治 29 年 3 月 26 日に合併し中郡となっている。

(3) 武蔵国と相摸国の境界は

現在の神奈川県域で武蔵国に属する地域は、横浜市の一部を除く地域と川崎市全域である。これ以外は、相摸国に属する地域である。

現在の横浜市域で相摸国に属する地域は、旧鎌倉郡から編入した次の地域である。

・昭和 11 年 10 月 1 日に中区に編入した鎌倉郡永野村 (現在の港南区の野庭、上永谷、下永谷、東永谷、芹が谷、丸山台、日限山)

・昭和 11 年 10 月 1 日に磯子区に編入した久良岐郡六浦荘村の内大字峠 (明治 30 年 5 月 11 日に鎌倉郡鎌倉町から編入したもの。現在の金沢区の朝比奈)

・昭和 14 年 4 月 1 日に鎌倉郡戸塚町など 8 町村が編入して設定された戸塚区 (現在の戸塚区、瀬谷区、栄区、泉区)

3 横浜町の成立

(1) 開港と共に成立

安政6（1859）年に神奈川（現在の横浜港）開港と共に、横浜村、中村、太田村、戸部村の一部が合併して横浜町が成立する。

(2) 横浜町とともに6町を設置

横浜町の設置と同時に横浜町内に駒形町、本町、北仲通、海辺通、南仲通、弁天通の6町が成立する。

(3) 郡区町村編制法の施行

郡区町村編制法（明治11年7月22日太政官布告第17号）の施行により横浜町は、横浜区となる。このとき横浜区には81の町があった。

明治12年1月11日、横浜外国人居留地に30の町が起立する。

明治17年7月10日、山手外国人居留地に26の町が起立する。

(2) 市制町村制の施行

市制町村制（明治21年法律1号、2号 明治22年4月1日施行）の施行により、横浜区138か町は横浜市となる。

4 制度等の変遷

(1) 自治体制度の変遷

自治体制度は、郡区町村編制法、市制町村制又は地方自治法の施行により制度が変更されているが、基礎自治体である市町村は、従来の名称や区域を引き継いでいる。

① 郡区町村編制法（明治11年7月22日太政官布告第17号）

「第二條 郡町村ノ區域名稱ハ總テ舊ニ依ル」

② 市制町村制（明治21年法律1号、2号 明治22年4月1日施行）

「市制第三條 凡市ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セス但將來其變更ヲ要スコトアルトキハ此法律ニ準據ス可シ」

「町村制第三條 凡町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セス但將來其變更ヲ要スルコトアルトキハ此法律ニ準據ス可シ」

③ 地方自治法（昭和22年法律67号 5月3日施行）

「第五條 普通地方公共団体の区域は、従来の区域による。」

(2) 各制度の特徴

① 郡区町村編制法

・郡とは別に区を設置

② 市制町村制

・施行を前に大合併を実施

・市制施行により「区」が廃止され、郡とは別に「市」が設置され、横浜市が誕生した。

5 幻の戸部町

(1) 久良岐郡戸部町消滅

久良岐郡戸部町は、明治6年に一部が横浜町に編入し横浜町戸部町となったが、明治11年の郡区町村編制法施行時の区域を定める布達で、横浜区に戸部町の記載があり、久良岐郡に戸部町の記載がなかったため、明治6年に全域が横浜町に編入され久良岐郡戸部町は消滅したと理解された。

(2) 合併時の矛盾

明治22年の町村分合改称の県令では、久良岐郡戸部町、平沼新田、尾張屋新田、太田村、吉田新田が合併し戸太村となる旨の記載があり、久良岐郡戸部町が存在していた事になるため、前述と矛盾が生じていた。

そのため、明治22年の町村分合改称の県令の表中の記載が「戸部町」ではなく「横浜町戸部町の一部」の誤りと解釈されていた。

(3) 訂正布達の発見

「神奈川県区市町村変遷総覧」編纂のために明治期の神奈川県布達等の調査を行っていたところ明治11年の郡区町村編制法施行時の布達における「久良岐郡戸部町」の脱落を訂正する布達が発見されたため、これまで明治6年に消滅したとされていた「久良岐郡戸部町」が明治22年まで存在していたことが明らかとなった。

甲第二百十號 明治十一年十一月甲第四百四十五號布達郡區編制久良岐郡町村名ノ内戸部町ノ義脱落ニ付更ニ追加候條此旨布達候事 明治十四年十一月廿四日 神奈川縣令沖 守固
--

6 大岱村と日比田村

(1) 「日比田村」を「昆田村」と誤認

多摩郡日比田村は、江戸中期に開発された村と思われるが、「口 比 田 比」の「日」と「比」を一文字と誤り「岫 田 比（コンタムラ）」と読まれた。

(2) 日比田村と大岱村が交換

多摩郡日比田村は、近くの入間郡大岱村と混同されるため、両村を交換したとされ、周囲が入間郡の中に多摩郡日比田村が存在し、周囲が多摩郡の中に入間郡大岱村が存在することとなった。

(3) 両郡の飛地解消

日比田、大岱の両村は、明治13年2月7日に日比田村が入間郡に、大岱村が北多摩郡に移管され両郡の飛地は解消された。

甲第二十號 今般本縣管下武藏國北多摩郡日比田村ヲ以テ入間郡ニ編替埼玉縣所管トシ埼玉縣管下武藏國入間郡大岱村ヲ以テ北多摩郡エ編替本縣ニ於テ管轄可致旨其筋ヨリ達有候條此旨布達候事 明治十三年二月七日 神奈川縣令野村靖代理 神奈川縣少書記官河野通倫

7 上中下と東西南北の付く名前

郡	名称	成立過程	廃止後
東多摩郡		明治11年多摩郡の東京府部分が独立。	明治29年南豊島郡と合併し豊多摩郡となる。
西多摩郡		明治11年多摩郡の神奈川県部分が西南北の3郡に分割。	
南多摩郡			
北多摩郡			
横浜町	南仲通	安政6年横浜町成立時に横浜町内に駒形町、本町、海辺通、弁天通と共に起立。	明治11年横浜町81町が横浜区となる。
横浜町	北仲通		
久良岐郡	上大岡村	元禄年間大岡村が上下2村に分立。	明治22年合併により大岡川村の一部となる。
久良岐郡	下大岡村		
久良岐郡	上郷村		江戸初期に矢部野、田中、栗木、峯村に分立。
久良岐郡	下郷村		江戸初期に松本、関、雑色の3村に分立。
久良岐郡	上中里村	同郡に同名があったため明治14年改称。	明治22年合併により日下村の一部となる。
橘樹郡	東子安村	元禄年間子安村が東子安、西子安、新宿の3村に分立。	明治8年東子安、西子安、新宿の3村が合併し子安村となる。
橘樹郡	西子安村		
橘樹郡	東寺尾村	江戸初期寺尾村が馬場、東寺尾、西寺尾、北寺尾の4村に分立。	明治22年合併により生見尾村の一部となる。
橘樹郡	西寺尾村		明治22年合併により子安村の一部となる。
橘樹郡	北寺尾村		明治22年合併により旭村の一部となる。
橘樹郡	上末吉村	江戸初期末吉村が上下2村に分立。	明治22年合併により旭村の一部となる。
橘樹郡	下末吉村		
橘樹郡	南綱島村	江戸中期綱島村が南北2村に分立。	明治22年合併により大綱村の一部となる。
橘樹郡	北綱島村		
橘樹郡	上平間村		明治22年合併により御幸村の一部となる。
橘樹郡	下平間村		
橘樹郡	上丸子村		明治22年合併により中原村の一部となる。
橘樹郡	中丸子村		明治22年合併により御幸村の一部となる。
橘樹郡	下丸子村		江戸期に荏原郡に編入。
橘樹郡	上小田中村		明治22年合併により中原村の一部となる。
橘樹郡	下小田中村		
橘樹郡	南加瀬村		明治22年合併により日吉村の一部となる。
橘樹郡	北加瀬村		明治22年合併により住吉村の一部となる。
橘樹郡	上作延村		明治22年合併により向丘村の一部となる。
橘樹郡	下作延村		明治22年合併により高津村の一部となる。
都筑郡	上星川村		明治22年合併により西谷村の一部となる。
橘樹郡	下星川村		明治22年合併により宮川村の一部となる。
橘樹郡	上野川村		明治8年2村が合併し野川村となる。
橘樹郡	下野川村		
橘樹郡	上菅生村		明治8年合併により生田村の一部となる。
橘樹郡	下菅生村		明治8年合併により菅生村の一部となる。
橘樹郡	下菅田村		明治22年合併により小机村の一部となる。
都筑郡	上菅田村		明治22年合併により新治村の一部となる。
都筑郡	上麻生村		明治22年合併により柿生村の一部となる。
都筑郡	下麻生村		
都筑郡	上川井村	寛永年間川井村の一部が分立。	明治22年合併により都岡村の一部となる。
都筑郡	下川井村		
都筑郡	上白根村	江戸初期白根村が上下2村に分立。	明治22年合併により都岡村の一部となる。
都筑郡	下白根村		
都筑郡	上猿山村	明治初期猿山村が上下2村に分立。	明治22年合併により新治村の一部となる。
都筑郡	下猿山村		
都筑郡	西八朔村		明治22年合併により中里村の一部となる。
都筑郡	北八朔村		
都筑郡	上谷本村		明治22年合併により中里村の一部となる。
都筑郡	下谷本村		
都筑郡	上鉄村	江戸初期鉄村が上中下3村に分立。	明治初期3村が合併し鉄村となる。
都筑郡	中鉄村		
都筑郡	下鉄村		
三浦郡	上宮田村		明治22年合併により南下浦村の一部となる。
三浦郡	下宮田村		明治22年合併により初声村の一部となる。

三浦郡	南下浦村	明治22年5村が合併し南下浦村となる。	昭和15年町制、同30年三浦市の一部となる。
三浦郡	北下浦村	明治22年3村が合併し北下浦村となる。	昭和18年横須賀市に編入。
三浦郡	上平作村	延宝年間平作村が上下2村に分立。	明治8年上下平作、池上の3村が合併し平作村となる。
三浦郡	下平作村		
三浦郡	東浦賀村	元禄5年浦賀村が東西2村に分立。	明治3年2村が合併し浦賀村となる。
三浦郡	西浦賀村		
三浦郡	上山口村		明治22年合併により葉山村の一部となる。
三浦郡	下山口村		
鎌倉郡	東俣野村	寛永年間東俣野村の一部が分立。	明治22年合併により俣野村の一部となる。
鎌倉郡	上俣野村		
高座郡	西俣野村		明治22年合併により六会村の一部となる。
鎌倉郡	東鎌倉村	明治22年10村が合併し東鎌倉村となる。	明治27年2村が合併し鎌倉町となる。
鎌倉郡	西鎌倉村	明治22年4村が合併し西鎌倉村となる。	
鎌倉郡	上野村		明治22年合併により本郷村の一部となる。
鎌倉郡	中野村		
鎌倉郡	上倉田村		明治22年合併により豊田村の一部となる。
鎌倉郡	下倉田村		
鎌倉郡	上野庭村	江戸初期野庭村が上下2村に分立。	明治22年合併により永野村の一部となる。
鎌倉郡	下野庭村		
鎌倉郡	永谷上村	江戸初期永谷村が上中2村に分立。	明治初期2村が合併し永谷村となる。
鎌倉郡	永谷中村		
鎌倉郡	上柏尾村	元禄年間柏尾村が上下2村に分立。	明治22年合併により川上村の一部となる。
鎌倉郡	下柏尾村		
鎌倉郡	上飯田村		明治22年合併により中和田村の一部となる。
鎌倉郡	下飯田村		
鎌倉郡	中和田村	明治22年4村が合併し中和田村となる。	昭和14年横浜市に編入し戸塚区の一部となる。
高座郡	下和田村		明治22年合併により渋谷村の一部となる。
高座郡	上和田村		
高座郡	上土棚村		明治22年合併により綾瀬村の一部となる。
高座郡	下土棚村		明治22年合併により六会村の一部となる。
高座郡	大曲村		明治22年合併により寒川村の一部となる。
高座郡	下大曲村		
高座郡	上大谷村	宝永7年大谷村が上下2村に分立。	明治8年2村が合併し大谷村となる。
高座郡	下大谷村		
高座郡	上今泉村	江戸初期今泉村が上下2村に分立、その後上今泉村の一部が中今泉村に分立。	天保年間中今泉村が上和泉村に編入、明治22年合併により海老名村の一部となる。
高座郡	中今泉村		
高座郡	下今泉村		
高座郡	上河内村	寛永9年河内村が上中河内と本郷村に分立。	明治22年合併により有馬村の一部となる。
高座郡	中河内村		
高座郡	上草柳村	江戸初期深見村の一部が上下草柳村に分立。	明治22年合併により鶴見村(同24年大和村に改称)の一部となる。
高座郡	下草柳村		
高座郡	上鶴間村		明治22年合併により大野村の一部となる。
高座郡	下鶴間村		明治22年合併により鶴見村の一部となる。
高座郡	上九沢村	慶長元年大島村の一部が上九沢村に分立。	明治22年合併により大沢村の一部となる。
高座郡	下九沢村		
高座郡	上溝村		明治22年溝村、大正15年上溝町、昭和16年合併により相模原町の一部となる。
高座郡	下溝村		明治22年合併により麻溝村の一部となる。
大住郡	上吉沢村		明治22年合併により土沢村の一部となる。
大住郡	下吉沢村		明治22年合併により土沢村の一部となる。
大住郡	中原上宿	明暦2年中原村が上下に分立、元禄8年2村が合併し中原村、宝暦4年上下に再分立。	明治22年合併により大野村の一部となる。
大住郡	中原下宿		
大住郡	南金目村		明治22年合併により金目村の一部となる。
大住郡	北金目村		
大住郡	上大槻村		明治22年合併により秦野町の一部となる。
大住郡	下大槻村		明治22年合併により大根村の一部となる。
大住郡	東大竹村	明治初期同郡に同名の大竹村があったため改称。	明治22年合併により伊勢原町の一部となる。
大住郡	西大竹村		
大住郡	秦野町	明治22年2村が合併し秦野町となる。	昭和30年合併により秦野市となる。

大住郡	東秦野村	明治22年7村が合併し東秦野村となる。	昭和30年合併により秦野市の一部となる。
大住郡	西秦野村	明治22年5村が合併し西秦野村となる。	昭和38年秦野市に編入。
大住郡	南秦野村	明治22年4村が合併し南秦野村となる。	昭和30年合併により秦野市の一部となる。
大住郡	北秦野村	明治22年5村が合併し北秦野村となる。	昭和30年合併により秦野市の一部となる。
足柄上郡	上秦野村	明治22年4村が合併し上秦野村となる。	昭和30年合併により西秦野町の一部となる。
大住郡	東田原村		明治22年合併により東秦野村の一部となる。
大住郡	西田原村		明治22年合併により東秦野村の一部となる。
大住郡	南矢名村		明治22年合併により大根村の一部となる。
大住郡	北矢名村		明治22年合併により大根村の一部となる。
大住郡	東富岡村		明治22年合併により成瀬村の一部となる。
大住郡	西富岡村		明治22年合併により高部屋村の一部となる。
大住郡	上粕屋村		明治22年合併により高部屋村の一部となる。
大住郡	下粕屋村		明治22年合併により成瀬村の一部となる。
大住郡	上落合村		明治22年合併により相川村の一部となる。
大住郡	下落合村		明治22年合併により成瀬村の一部となる。
大住郡	上平間村	江戸初期平間村が上下2村に分立。	明治22年合併により大田村の一部となる。
大住郡	下平間村		
大住郡	上谷村		明治22年合併により大田村の一部となる。
大住郡	下谷村		明治22年合併により大田村の一部となる。
大住郡	上入山瀬村	江戸初期入山瀬村が上下2村に分立。	明治22年合併し入山瀬村となる。
大住郡	下入山瀬村		
淘綾郡	東小磯村	江戸初期小磯村が東西2村に分立。	明治22年合併により大磯町の一部となる。
淘綾郡	西小磯村		
足柄上郡	南足柄村	明治22年9村が合併し南足柄村となる。	昭和15年町制、同47年市制施行。
足柄上郡	北足柄村	明治22年3村が合併し北足柄村となる。	昭和30年南足柄町と山北町に編入。
足柄上郡	上中村	明治22年5村が合併し上中村となる。	昭和21年合併により相和村の一部となる。
足柄上郡	中村	明治22年14村が合併し中村となる。	明治41年合併により中井村の一部となる。
足柄下郡	下中村	明治22年5村が合併し下中村となる。	昭和30年合併により橘町の一部となる。
足柄上郡	上大井村	江戸初期大井村が上下西3村に分立。	明治22年合併により曾我村の一部となる。
足柄上郡	下大井村		
足柄上郡	西大井村		
足柄上郡	上曾我村		明治22年合併により曾我村の一部となる。
足柄下郡	下曾我村	明治22年4村が合併し下曾我村となる。	昭和29年小田原市に編入。
足柄下郡	東大友村		明治22年合併により上府中村の一部となる。
足柄下郡	西大友村		明治22年合併により上府中村の一部となる。
足柄下郡	上府中村	明治22年7村が合併し上府中村となる。	昭和29年小田原市に編入。
足柄下郡	下府中村	明治22年7村が合併し下府中村となる。	昭和23年小田原市に編入。
足柄下郡	上新田村		明治22年合併により下府中村の一部となる。
足柄下郡	中新田村		明治22年合併により下府中村の一部となる。
足柄下郡	下新田村		明治22年合併により下府中村の一部となる。
足柄下郡	宮上村	正保3年土肥入谷村が宮上、宮下2村に分立。	明治22年合併により土肥村の一部となる。
足柄下郡	宮下村		明治22年合併により土肥村の一部となる。
愛甲郡	上川入村		延宝2年田代、角田2村に分立。
愛甲郡	下川入村		昭和21年合併により睦合村の一部となる。
愛甲郡	上古沢村		明治22年合併により土沢村の一部となる。
愛甲郡	下古沢村		明治22年合併により土沢村の一部となる。
愛甲郡	上依知村		明治22年合併により依知村の一部となる。
愛甲郡	中依知村		
愛甲郡	下依知村		
愛甲郡	下荻野村	江戸初期下荻野村の一部が中荻野村に、明治初期2村が荻野村に、明治15年再び下中に分立。	明治22年3村が合併し荻野村となる。
愛甲郡	中荻野村		
愛甲郡	上荻野村		
津久井県	上川尻村	寛永7年川尻村が上下2村に分立。	明治8年2村が合併し川尻村となる。
津久井県	下川尻村		
津久井県	上長竹村	寛文4年長竹村が上下2村に分立。	明治9年2村が合併し長竹村となる。
津久井県	下長竹村		

※「神奈川県区市町村変遷総覧」より

開港時横浜町に起立した町（6町）

こまがたちょう 駒形町	ほんちょう 本町	きたなかどおり 北仲通	うみべどおり 海辺通	みなみなかどおり 南仲通	べんてんどおり 弁天通
----------------	-------------	----------------	---------------	-----------------	----------------

横浜区設置時の区内の町（81町）

ほんちょう 本町	きたなかどおり 北仲通	もとはまちょう 元浜町	かいがんどおり 海岸通	みなみなかどおり 南仲通	べんてんどおり 弁天通
さかいちょう 境町	おおたまち 太田町	こがねちょう 黄金町	あいおいちょう 相生町	すみよしちょう 住吉町	ときわちょう 常盤町
おのえちょう 尾上町	まごちょう 真砂町	みどりちょう 緑町	みなとちょう 港町	よしだまち 吉田町	やなぎちょう 柳町
ふくとみちょう 福富町	ちようじやまち 長者町	すえよしちょう 末吉町	いせざきちょう 伊勢佐木町	すがたみちょう 姿見町	はごろもちょう 羽衣町
なにわちょう 浪花町	ほうらいちょう 蓬萊町	わかたけちょう 若竹町	まつがえちょう 松ヶ枝町	うめがえちょう 梅ヶ枝町	わかばちょう 若葉町
あしびちょう 足曳町	ひさかちちょう 久方町	にぎわいまち 賑町	くもいちょう 雲井町	ながしまちちょう 長島町	よしおかちょう 吉岡町
するがちょう 駿河町	よろずちょう 萬代町	ふろうちょう 不老町	おうざちょう 扇町	おきなちょう 翁町	ことぶきちょう 寿町
まつかげちょう 松影町	よしはまちちょう 吉浜町	みよしちょう 三吉町	ちとせちょう 千歳町	やまだちょう 山田町	ふじみちょう 富士見町
やまぶきちょう 山吹町	さくらざちょう 桜木町	うちだちょう 内田町	ふくながちょう 福長町	ながすみちょう 長住町	たちばなちょう 橘町
たかしまちちょう 高島町	うらたかしまちちょう 裏高島町	はなさきちょう 花咲町	のげちょう 野毛町	つきおかちょう 月岡町	おいまつちょう 老松町
みやがわちょう 宮川町	ひのでちょう 日出町	ふくしまちちょう 福島町	みやざきちょう 宮崎町	いせちょう 伊勢町	とべまち 戸部町
ひらぬままち 平沼町	なかもち 仲町	ざいもくちょう 材木町	みはるちょう 三春町	はつねちょう 初音町	はなぶさちょう 英町
かすみちょう 霞町	しみずちょう 清水町	もとまち 元町	すわちょう 諏訪町	うえのまち 上野町	ちよざきちょう 千代崎町
やまもとちょう 山元町	いしかわなかもち 石川仲町	いしかわまち 石川町			

横浜外国人居留地内の町（30町）

ふじやまちちょう 富士山町	こうべちょう 神戸町	はなぞのちょう 花園町	かがちょう 加賀町	あわちょう 阿波町	さつまちちょう 薩摩町
にほんおどおり 日本大通	ほんむらどおり 本村通	きょうちょう 京町	えちごちょう 越後町	おおさかちょう 大坂町	びわちょう 琵琶町
まえばしちょう 前橋町	えぞちょう 蝦夷町	するがちょう 駿河町	おだわらちょう 小田原町	おわりちょう 尾張町	むさしよちょう 武蔵横町
ぶんごちょう 豊後町	はこだてちょう 函館町	つのちょう 角町	ほりかわちょう 堀川町	むさしちょう 武蔵町	ふたごちょう 二子町
うえだちょう 上田町	ほんちょうどおり 本町通	みずまちどおり 水町通	きゅうしゅうちょう 九州町	ながさきちょう 長崎町	かいがんどおり 海岸通

山手外国人居留地内の町（26町）

やとざかどおり 谷戸坂通	やまてほんちょうどおり 山手本町通	ふじみちちょう 富士見町	うちだいざか 内台坂	にしざかまち 西坂町	じぞうざか 地藏坂
こさかちょう 小坂町	おおまるざか 大丸坂	しゆもくちょう 榎木町	たまきちょう 環町	こうえんざか 公園坂	にしざか 西野坂
しおくみざか 汐汲坂	たかだざか 高田坂	みのわざか 三ノ輪坂	いなりちょう 稲荷町	みなみざか 南坂	かいがらざか 貝殻坂
みやわきざか 宮脇坂	じんやまち 陣屋町	すわちょうどおり 諏訪町通	ゆみちちょう 弓町	はたちちょう 畑町	やのねちょう 矢ノ根町
いずみちょう 泉町	はやしちょう 林町				

横浜市制実施時の市内の町（138町）

ほんちよう 本町	きたなかどおり 北仲通	もとはまちよう 元浜町	かいがんどおり 海岸通	みなみなかどおり 南仲通	べんでんどおり 弁天通
さかいちよう 境町	おお た まち 太田町	あいおいちよう 相生町	すみよしちよう 住吉町	とき わちよう 常盤町	おの えちよう 尾上町
ま さごちよう 真砂町	みなとちよう 港町	さくらぎちよう 桜木町	ふくしまちよう 福島町	うち だちよう 内田町	ながすみちよう 長住町
みどりちよう 緑町	たかしまちよう 高島町	たちばなちよう 橋町	うらたかしまちよう 裏高島町	の げちよう 野毛町	つきおかちよう 月岡町
おいまつちよう 老松町	みやがわちよう 宮川町	はなさきちよう 花咲町	と べ まち 戸部町	みやざきちよう 宮崎町	い せちよう 伊勢町
ひらぬままち 平沼町	なかもち 仲町	ざいもくちよう 材木町	こ がねちよう 黄金町	よし だ まち 吉田町	ふくとみちよう 福富町
ちようじやまち 長者町	すえよしちよう 末吉町	わかたけちよう 若竹町	まつ が えちよう 松ヶ枝町	うめ が えちよう 梅ヶ枝町	なに わちよう 浪花町
すがたみちよう 姿見町	はごろもちよう 羽衣町	やなぎちよう 柳町	ほうらいちよう 蓬萊町	よるずちよう 萬代町	ふ ろうちよう 不老町
おうぎちよう 扇町	おきなちよう 翁町	ことぶきちよう 寿町	まつかげちよう 松影町	よしはまちよう 吉浜町	わか ばちよう 若葉町
あしびちよう 足曳町	ひさかちちよう 久方町	にぎわいまち 賑町	くも いちよう 雲井町	ながしまちよう 長島町	よしおかちよう 吉岡町
ふ じ みちよう 富士見町	する がちよう 駿河町	やまぶきちよう 山吹町	やま だちよう 山田町	み よしちよう 三吉町	い せ ざ きちよう 伊勢佐木町
ち とせちよう 千歳町	ま がねちよう 真金町	えいらくちよう 永楽町	ひの でちよう 日出町	み はるちよう 三春町	はつ ねちよう 初音町
はなぶさちよう 英町	かすみちよう 霞町	し みずちよう 清水町	も とまち 元町	いしかわまち 石川町	いしかわまち 石川仲町
やまもとちよう 山元町	うえ のまち 上野町	ち よ ぎちよう 千代崎町	す わちよう 諏訪町	ふ じ やまちよう 富士山町	こう べちよう 神戸町
はなぞのちよう 花園町	か がちよう 加賀町	あ わちよう 阿波町	さつ まちよう 薩摩町	に ほんおおどおり 日本大通	ほんむらどおり 本村通
きようちよう 京町	えち ごちよう 越後町	おおさかちよう 大坂町	び わちよう 琵琶町	まえばしちよう 前橋町	え ぞちよう 蝦夷町
する がちよう 駿河町	お だ わらちよう 小田原町	お わりちよう 尾張町	む さしよちよう 武蔵横町	ぶん ごちよう 豊後町	はこだてちよう 函館町
つのちよう 角町	ほりかわちよう 堀川町	む さしちよう 武蔵町	ふた ごちよう 二子町	うえ だちよう 上田町	ほんちようどおり 本町通
みずまちどおり 水町通	きゆうしゅうちよう 九州町	ながさきちよう 長崎町	かいがんどおり 海岸通	や と ざかどおり 谷戸坂通	やまて ほんちようどおり 山手本町通
ふ じ みちよう 富士見町	うちだいざか 内台坂	にしざかまち 西坂町	じ ぞうざか 地藏坂	こ さかちよう 小坂町	おおまるざか 大丸坂
しゅもくちよう 榎木町	たまきちよう 環町	こうえんざか 公園坂	にし の さか 西野坂	しおくみざか 汐汲坂	たか だ ざか 高田坂
み の わ ざか 三ノ輪坂	いな りちよう 稲荷町	みなみざか 南坂	かいがらざか 貝殻坂	みやわきざか 宮脇坂	じん や まち 陣屋町
す わちようどおり 諏訪町通	ゆみちよう 弓町	はたちよう 畑町	や の ねちよう 矢ノ根町	いずみちよう 泉町	はやしちよう 林町